

春のよき日



文責(校長 白濱忠昭)

1 嬉しいお話 part 1

「朝から子どもたちに元気もらっています。」

これは、正門で子どもとあいさつを交わす、あいさつボランティア 山本正子さんからいただいた言葉です。山本さんは、今年度から毎朝立哨指導に参加されています。初めは、慣れないせいか、あいさつを交わす子どもも少なかったのですが、継続していただくうちに顔見知りになり、あいさつだけでなく、会話を交わしたり、握手したりする子どももできてきました。今では、正門以外の場所で会った時に、声をかけてくれる春日っ子もいるとのこと。ボランティアに参加して、とても満足されています。



<爽やかなあいさつ>

あいさつを交わすことで、地域の方にエネルギーを与えることができる「子どものパワー」や「継続すること」により、子どもとの人間関係が徐々に深まることをあらためて感じています。子どもたちには、そうしたパワーを持っていることを自覚し、爽やかなあいさつを交わすことを、更に期待しています。また、保護者や地域の皆さんには、できる時間にできる場所で結構ですので、より多くの方に、あいさつボランティアを実践していただくことを願っています。

2 嬉しいお話 part 2

前校長の山田睦子先生に、地域の方からお便り(メール)が届いたとお知らせがありました。その内容を紹介します。

山田校長先生へ

はじめまして桜木町住人です。過日春日小で天体の講義があった際に、帰りにパイプ椅子を持って片付けていたら、4年生以上?位の女子児童学生さんが、「後は私たちがやります。」と手を差し伸べてくれました。お礼を十分に言いそびれましたので、是非とも褒めてあげて頂きませんか。あの時は、パイプ椅子を片付けるのをきつく感じており、とてもありがたく助かりました。とても感心で気のきいた子どもさんでした。日頃の指導が良いのですね。

※ 裏面に続く

さりげなく手を差し伸べることができる子ども。とても素敵ですね。また、そのことに感動し、何らかの形で伝えてくださった地域の方にも感謝する次第です。こうした子どもたちが広がっていくことを願い、職員とも話題を共有しました。ご連絡ありがとうございました。

3 嬉しいお話 part 3

長崎新聞PTA広報誌コンクールの審査会が実施され、春日小学校PTA広報誌「かすがのもり」が、印刷の部で優秀賞に選ばれました。文化部のみなさん、おめでとうございます。「かすがのもり」と言えば、これまでこのコンクールで幾度となく受賞した広報誌で、その伝統を引き継いだ今回の受賞です。年度末に発行予定の「かすがのもり」が、今から楽しみです。



4 学校外で活躍する「春日っ子」を紹介します。

- ① 第61回卓球クラブ合同大会
 - 3年 ○○ ○○ さん 第3位 (Jリーグ・カブ女子)
- ② 春日小女子ミニバスケットボールクラブ
 - 第7回HOPEカップ少女バスケットボール大会
 - ・ 第1位 (送別の部) 第3位 (新人の部)
 - 第13回北部地区新人ミニバスケットボール大会
 - さわやかカップミニバスケットボール大会
 - ・ 優勝 準優勝
 - ・ 最優秀選手賞 5年 ○○ ○○ さん
 - ・ 優秀選手賞 5年 ○○ ○○ さん
 - 第9回白磁杯 5年 ○○ ○○ さん
 - ・ 優勝
 - ・ 最優秀選手賞 6年 ○○ ○○ さん
 - 第28回佐世保・県北地区小学生ミニバスケットボール新人大会
 - ・ 第3位

